

# Weekly Report

2023-24



世界に希望を生み出そう

創立 / 1965年6月25日  
 例会日 / 毎週木曜日 PM12:30~  
 会場 / 江南商工会館1F大ホール  
 江南市古知野町小金112  
 0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館別館1F  
 TEL / 0587-55-6554  
 FAX / 0587-59-7720  
 URL / <http://www.konan-rc.com/>  
 Mail / [konanrc@beach.ocn.ne.jp](mailto:konanrc@beach.ocn.ne.jp)  
 会長 / 富田清孝 幹事 / 木本寛 会報委員長 / 山崎博征



2024年(令和6年) 5月23日(木) 晴れ 第2799回(当年度第33回)例会

点鐘  
司会

ロータリーソング斉唱  
四つのテスト斉唱

会長 富田 清孝君  
SAA 濱島聡一朗君  
「我らの生業」  
曾根竜治君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長挨拶



会長 富田 清孝君

こんにちは。

最近あまり言われなくなりましたが、[自分はアナログ人間ですからデジタルの様な新しいことにはなかなかついていけない]と言うような事をしばしば聞きました。これは認識が違うとずっと思っていました。

アナログとは情報の表現の一つで、時計や温度計の様な連続した情報を連続的に角度や長さ等で現す方法。デジタルとは連続した情報をとびとびに現す方法。現実の世界はアナログです。

デジタルと言うのはアナログを表現する一つの方法にすぎないです。ですからデジタルはアナログより新しいとか優れているという物では無いと思います。

自分のことをアナログ人間などとは言わないで下さい。

今日も宜しくお願いします。

幹事報告 -別紙- 幹事 木本 寛君

出席報告 委員 伊藤 かね子君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
49名	35名	14名	77.78%

ニコボックス 委員 伊藤 かね子君

- 地区研修・協議会報告  
報告者の皆様、よろしくお願ひいたします。  
富田 清孝、波多野 智章、木本 寛、三輪 慎一郎君
- 久しぶりのワイン会 楽しい時間でした。  
週末の天気良さそうで良かったですね。

倉知 正憲君  
○今年もトリプルの祝福をいただきありがとうございます。

加藤 義晴君  
○交換留学生と米山奨学生を迎えての茶会を開催していただきました。皆様のご協力で楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。

近藤 道磨君  
○5月21日にベトナムにて、現地企業と業務提携契約を結びました。  
7月1日からベトナムで業務スタートします。

山崎 博征君  
○本日は、地区研修・協議会報告です。担当の皆様、よろしくお願い致します。  
松岡一成君、庄田元久君、岩田静夫君、長瀬晴義君、南村朋幸君、岩田進市君

## 卓話

### 地区研修・協議会報告(第1分科会)



次年度 会長エレクト 沢田 昌久君

こんにちは。

私は今回のクラブ協議会では、会長エレクトの立場から第1分科会に参加させていただきました。この分科会では、今年度のRFFの実行委員長である、江南クラブが誇る伊藤靖祐君が担当するところのRFFの三つの目的について話がありました。その目的は、一つにポリオの根絶そしてロータリークラブの公共イメージの向上、さらに2760地区の地区内ロータリーの結束を深めるという三つの課題が含まれています。

ポリオの根絶はロータリークラブの最優先事項になっています。それは、ロータリーで5千万ドル集めれば、ビルゲイツ財団が1億ドルを拠出していただけるといふ働きかけがあるからです。ポリオ根絶活動の最重要課題は、ファンドレイジング。この言葉の意味は、資金調達です。私は参加できませんでしたが、先日のロータリーフードフェスタでは多額の寄付やチケットの販売が達成でき、合わせてポリオ活動を通じてロータリークラブの公共イメージ向上に大きく貢献出来た活動ではなかったでしょうか。

クラブ協議会では、どうしてRFFを実施するのかというテーマが出され、その内容について、詳しく説明がされました。

ポリオ根絶まであと少しとせまっています。昨年からの記録から、まだパキスタン、アフガニスタンでは6名ずつ感染者が出ているようですので、本当にあと少しです。

日本は1981年にポリオが根絶されました。当時、私の世代でも日本脳炎を発症して、肢体麻痺の子供を数人は見ることがあったと記憶しています。日本のポリオが根絶できたのは、世界からの国際的援助で達成されました。

ですので、今度は日本が世界にお返しをする番なのです。

ポリオがこの地球上から根絶されれば、日本の子供たちも4種混合の予防接種を受ける必要がなくなると言われています。

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が互いに手を取り合って行動する世界をめざしています。

しかし世界にはいろいろな危機があります。戦争、テロ、

経済危機、パンデミック、家庭の危機などなど。ロータリーが考えるところの優先すべき危機の対象は、  
1.自然災害  
2.パンデミック(ウイルス性感染症の世界的流行)  
3.ハラスメント  
4.個人情報保護、サイバー攻撃、情報操作の4つをあげています。

さらにRI理事会では、地区危機管理計画の策定を強く推奨しています。

また、RIの理事会では、ロータリークラブ・セントラルと名をうってクラブに対して3年ごとの目標を達成できるよう3年ごとの地域計画を立てるよう奨励しました。

内容については、次年度南村会長に従い進めていこうと考えています。

以上、クラブ協議会での報告でした。

### 地区研修・協議会報告(第7分科会)

#### 次年度 青少年奉仕委員長 田岡 剛君

次年度、青少年奉仕委員会委員長を仰せつかりました田岡 剛です。

4月の地区研修・協議会の報告をさせていただきます。

次年度は青少年奉仕ということで、私は第7分科会を受けさせていただきました。

インターアクト・ローターアクト・RYLA(ライラ)・青少年交換・学友会の5つについてご説明をいただきました。が、青少年交換は関わるのが多い活動ですから良いのですが、まだまだ私にはその意味が分からないことが多く、その他は勉強しなければと我ながら必死にメモを取らせていただきました。

今後のロータリーを維持していくことは人材の育成にも繋がっていくということで、まずは12才から18才までが入会できる、インターアクトクラブのご説明をいただきました。「ロータリーの超私の奉仕」を進めるための元になると捉えればよいのでしょうか。

高校生の海外へ向けての事業。例えば募金活動などから、国際理解の為のプログラムを実践していく、など。多くの目的と目標のお話を聞きました。

続いてローターアクトについてです。インターアクトをきっかけ作りとするならば、ローターアクトで実践、そして結果をもたらすことになっていくのでしょうか。

大学生・若い社会人が対象になりますので、自立性と結果を求めていることでより力強い活動と感じました。ただロータリークラブとしては金銭的なサポートだけではなく、ローターアクトの定例会等にも参加して助言等実質的なサポートが重要との説明もいただきました。

続いてRYLA(ライラ)についてでしたが、青少年育成よりも青少年指導者養成プログラムでさらにリーダーシップのスキルを磨くことをご説明いただきました。多くの方にセミナー・プログラムを受けていただきたいとのことで、ぜひとも卓話依頼をしていただきたいと最後にお話しておりました。

青少年交換についてのご説明は大変勉強になりました。

ただ受け入れるだけのことでなく、交換留学生も候補生になるための段階もあること。帰国後もROTEX(ローテックス)に入り繋ぐ活動を続けている方もみえることで、終わりなき繋がりがあることを学びました。

ただホストクラブ不足がかなり深刻とお聞きしました。食事の問題はもとより、生活環境が違うことでホストフ

ファミリーがない。  
など受け入れを断念するクラブも多い。  
問い合わせ時にそのまま断らず、一度地区に連絡をしてほしいとも言われています。  
解決策を一緒に考え、多くの交換留学生に可能性を提供したいとお話されました。

最後に学友会でした。  
各プログラムを参加し卒業された方々が集う会と伺いました。  
昨年RIに申請をし、先日のRFFの場で愛知学友会の伝達式がなされるとお聞きしました。  
ロータリークラブと連携しながら、さまざまな地域貢献活動を行っています。

最後になりますが、次年度青少年奉仕委員会委員長ということで、ロータリークラブの奉仕の心を勉強するきっかけをいただけたと思っております。  
また皆様方にはご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

#### 地区研修・協議会報告(第8分科会)



次年度 米山奨学委員長 枚本 哲一君

私は第8分科会 次期米山奨学記念委員会に出席してきました。

本年度 米山記念奨学制度指定校応募により 当クラブは

- ・CAO NHI LY YEN (カオ ニー リ イエン)さん
  - ・ベトナム出身 女性 22歳
  - ・名古屋経済大学経済学部経済専攻 3年生
  - ・期間:2024年4月1日~2026年3月31日
- 支援します。

まず手渡された資料「クラブ米山記念奨学委員長の手引き」の最初に書いてあるのが“奨学事業の価値はどんな奨学生を採用したか?で決まります” “さらに意味のある事は どんな奨学生に育てたか、育ててくれたか、にあります”です。

前半は地区の範囲、後半が世話クラブの役割ですね。

本米山記念奨学会は 東京ロータリークラブ主体で 1967年、文部省の許可を得て「財団法人ロータリー米山記念奨学会」となり、今年で57年、131カ国、23,509人(2023.07 現在)を支援しました。民間最大級の国際奨学事業で、2020年から内閣府から業務委託の覚書を毎年締結しています。

#### <事業の使命(重要)>

将来、日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することであり、金員に恵まれない留学生を支援するものではありません。

当方が以前、大学に教えに行っていた頃から 教授等より“生活や学費に困窮して辞めてゆく日本の学生が増えつつある今日、何とかならないものか?”と聞かされていた為、事業費の大きさを知り少々複雑な気持ちで臨んでいるのが本音です。

本事業は、日本のロータリー会員の寄付を財源に日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給しています。

#### <2022-23 年度事業費>

支出 14.4 億円、内奨学金 12.2 億円(85%)

#### <2023 年度採用数>

約 900 人/年。累計:23,509 人

#### <2024 年度 2760 地区実績>

56 人(内、継続 20 人)

#### <支給額/月>

学部課程 10 万円 修士 & 博士課程 14 万円 その他

#### <選考方法>

指定校推薦制度:地区が選定した指定校から学生を推薦、地区選考委員が面接・選考する。日本語会話能力がポイント。

#### <奨学生用保険>

団体総合補償制度費用保険に加入済。  
例会、地区行事参加時に適用。

#### <個人情報取扱:皆様に注意してほしい事>

奨学生・学友の、顔写真、個人情報等、本人が特定できるものは了承を得てから慎重に行う様御願いたします。  
・FaceBook や Instagram への投稿時、奨学生レポートや手紙を週報・月信・SNS に掲載する時  
・参考:米山奨学会では 2005 年 6 月以降、名簿の作成を廃止しています。

#### <残念な数字>

学友全体数 22,609 人中(除現役) 死亡者 117 人(0.5%)、住所不明者 4,859 人(21.5%)

#### <世話クラブの主な役割(抜粋)>

- 1) 例会への招待と奨学金の支給
- 2) 奨学生レポート・カウンセラー所見の提出
- 3) 卓話と近隣クラブへの招待
- 4) カウンセラーはクラブと奨学生を繋ぐパイプ役
- 5) ロータリー精神を伝え奨学生の責任と義務を自覚してもらう
- 6) 奨学期間終了後も連絡を取合い交流の機会を作る

#### <学友会について>

米山学友の同窓会組織で、奨学期間終了後、ロータリーと交流を深め地域奉仕活動を企画し活動しています。

海外には 10 カ国と地域にあります。例えばベトナムではホーチミンで「ベトナム南米山学友会」が 2023 年 5 月設立されましたので 仕事や観光等でお越しの際はお立寄りする事をお勧めします。きっと日本との素敵な架け橋となってくれるでしょう。

### <台北東海ロータリークラブ訪問記>

米山学友が1995年初めて設立したロータリークラブで日本語により例会をしています。

当方が台湾へ観光に訪れた折、一人で make up に行ってきました。

例会が始まる前でしたが「中国の台湾か！台湾の台湾なのか！」と討論が始まりそうになりました。

が、ゲストがいる事と例会直前の為、治まりました。

個人的には、その先を是非聞きたかったのですが、台湾の苦悩と悩み、ジレンマを垣間見た気になりました。

例会終了後、会場のホテルロビーでタクシーを呼ぼうとしたところ、背後から台北東海 RC 会員の白髪の女性から日本語で「良ければ送って差し上げますよ」と声を掛けられました。

一瞬戸惑いはありましたが「これも何かの御縁…」と甘えることにしました…のはいいのですが、フロントに横付けしたのが“運転手付きのロールスロイス！”目が点！！

前や横を走る車が避けて走る…のは台湾も同じでした。

初めて運転手付きのロールスロイスデビューしたわけですが、車内で聞いたところ台北(台湾?)テレビ台会長で色々お話をさせて頂いたのですが流暢な日本語、飛びぬけた知性と教養、気品を備えた初めて見る女性のタイプで、非常に印象的でした。

この RC には多くの日本人ロータリー会員が make up に訪れていますので皆様方も台北にお越しの際は是非お立ち寄りする事をお勧めします。

### 地区研修・協議会報告(第9分科会)



入会3年未満会員 林 庸介君

2024-25 年度 地区研修・協議会(2024 年 4 月 7 日) 分科会報告

第9分科会(入会3年未満会員)

入会3年未満会員の林です。

4月7日に開催されました地区研修・協議会の第9分科会に参加させていただきましたので、報告いたします。

第9分科会は入会3年未満会員の分科会で、3名の講師の方からロータリークラブ初心者に向けて、ロータリークラブの基本的な知識や心構え等についての説明が主な内容でした。

以下、ご登壇された順番に報告いたします。

1. 名古屋宮の杜 RC 鈴木 拓将 氏(次期地区

国際奉仕委員会副委員長)

テーマ:『私にとってのロータリー』

●ご自身も入会7年で、入会3年未満会員に近い目線から、主に心構えについてのお話でした。

チャーターメンバーとして経験者約1割からスタートし、手探りで進めていく中で、入会から2~3年はロータリークラブの活動に参加する意義がよくわからない時期もあったそうですが、続けている内に少しずつ楽しさがわかるようになり、今は趣味の会等も増えて親睦を深めていますとのことでした。

まずは例会に参加し、開始時間よりできるだけ早く行き、コミュニケーションの時間を取りましょう、とのお話でした。

2. 名古屋中 RC 籠橋 美久 氏(パストガバナー、次期ロータリー財団地域コーディネーター補佐、次期副ガバナー、次期 RLI 地区代表委員)

テーマ:『ロータリーの組織と目的』

●RI 会長メッセージの「The Magic of Rotary」、地区方針「魅力ある例会、持続可能な奉仕活動、成長するロータリー」の解説に始まり、ロータリーの組織と目的についてお話いただきました。

ロータリーとは何か、ロータリアンとは、ロータリーのエッセンス、ロータリービジョン声明、ロータリーの目的、四つのテスト、奉仕の理念とは、RI 基本方針(ロータリー重点分野)等についてご解説いただきました。

ロータリーの組織図、RI 各委員会、ロータリー財団、第2760 地区の組織図、クラブ組織、日本のゾーン等についてもご解説いただきました。

世界中のロータリークラブが、奉仕活動を通してそれぞれの地域社会に良い変化を生むことが、世界の平和構築と紛争予防に繋がって行くと、ロータリーの目的や組織の説明を通して理解できました。

3. 名古屋名駅 RC 神野 重行 氏(パストガバナー、一般社団法人国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構副理事長、公益社団法人ロータリー米山記念奨学会常務理事、次期地区拡大委員長)

テーマ:『真のロータリアンを目指して』

●「クラブ」という言葉の語源から、ロータリーの原点、ロータリーの目的(意義ある事業の基礎として奉仕の理念を實踐し、これを育むことにある。)についてご解説いただきました。

その目的の推進・達成を目指し、仲間と力を合わせて頑張ってみることで、段々と遣り甲斐、そして楽しさのような気持ちを感じられるようになってこられる、とのことでした。

●DEI(多様性 Diversity、公平さ Equity、インクルージョン Inclusion)、特に多様性の理解についての話があり、WEF(World Economic Forum)発表のジェンダーギャップ指数で日本は146か国中125位とのこと、世界ではロータリアンの27%が女性、我が地区は6%台。多様性を一番実感できるのが世界大会。

ぜひ仲間と参加してみてくださいとのことでした。親睦のうえに奉仕活動への参加、実践があれば、きっと真のロータリアンとなられることでしょう、とのことでした。

例会参加を継続し、江南ロータリークラブ創立60周年記念事業はもちろんのこと、その他の奉仕活動等にも積極的に参加して参りたいと思いますので、引き続きよろしくお願いたします。ご清聴ありがとうございました。



次年度 SAA 岩田 静夫君

次年度 SAA を担当させて頂くこととなりました岩田静夫です。

4月7日の地区研修・協議会の第2分科会に出席しましたので、ご報告をさせていただきます。

テーマ「魅力的で持続可能そして、成長する例会を創る」とし、名古屋大須RCの照井リーダー(次期地区ロータリー委員長)より元気なクラブを目指すためのロータリーへの深い愛を感じさせる開会のご挨拶を頂き、本題へと入りました。

「温故知新 例会について考えてみよう」というテーマで前研修実行委員長 ファシリテーターの当クラブの古田嘉且君より卓話を頂きました。

クラブを活性化するためには

- ① 例会に出席する必要がある
- ② クラブ運営の仕方
- ③ 会長の挨拶その内容
- ④ 他のクラブに参加して参考にする
- ⑤ 卓話が大切である、外部ではなく会員卓話を中心にする、そこから会員間の親睦が生まれる その他にRIも変わっていくのでその対応も必要である、新会員への教育が特に大事で、例会が楽しく続けてみたいという気持ちを起こさせることが必要であると強調されました。

最後に RI や地区の最新情報を例会において定期的に提供する必要がある。

羅針盤のない航海が危険であるように、ロータリー情報が乏しいクラブは危ういと言わざるを得ないのではないかと結ばれました。

続いて「元気なクラブを目指して」というテーマでロータリーの友委員会委員長で甲府 RC の高野孫左エ門 2620 地区パストガバナーより望まれるクラブでの体験とは何かという事で

- ① 例会での楽しみ
- ② クラブ指導者への信頼
- ③ 自己成長への機会
- ④ つながり
- ⑤ 意義ある奉仕が重要で誰でも参加しやすいRCにどうすべきかと講演を頂きました。

私自身、まだ若輩者で学びのさなかではありますが、メンバーの皆様と新鮮な気持ちで 60 周年を一生懸命学び楽しみたいと思いますので、ご協力の程を宜しくお願い申し上げます。



第17回 江南 RC ワイン同好会

5月21日(火)19:00 より、ラ・カーサ江南店にて、春のワイン会が開催され、17名のメンバーと4名のゲストの方々が世界の様々なワインを楽しみました。



堀尾同好会会長 挨拶



富田会長 挨拶



江南ロータリークラブ2024年度 家族会

5月25日から26日にかけて、本年度の家族会として【立山・黒部アルペンルート家族旅行】が開催され、メンバー16名、ご家族8名の総勢24名が参加されました。

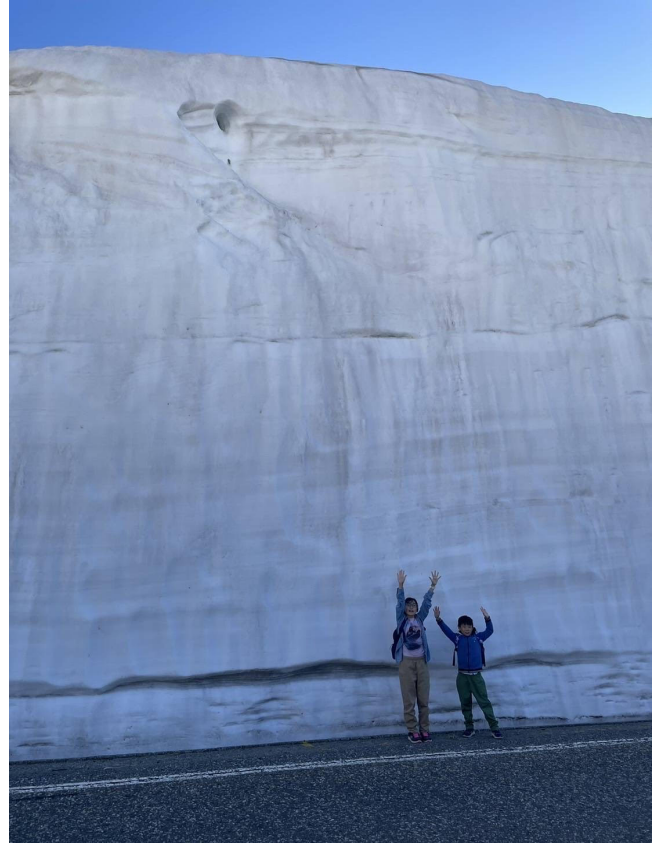
晴天に恵まれ、雪の大谷、星空観賞、雷鳥ウォッチング、黒部ダムの見学等、貴重な体験をすることができました。



富山県滑川市でホテルイカの天井をいただきました。



室堂のホテル周辺はまだまだ雪が残っていました。雷鳥に出会うことができた方もいるようです。



雪の大谷



大観峰駅の雪のトンネル



立山ロープウェイ。途中に支柱が一本も無いロープウェイで長さは日本最長。

会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら

※初めての方は  
アカウントを作成してください。  
※アカウントがある方は  
ログインをご覧ください。



ROTARY 2760

アプリダウンロードはこちら



写真等ございましたら会報までお知らせください。  
(担当 内田 吉信)



行きのバス内で黒部ダムについて予習をし、先人の偉業を目に焼き付けてきました。